

トスカについて

作曲 プッチーニ

初演 1900年1月14日 ローマ

イタリアの作曲家プッチーニの5番目の作品。19世紀の終わりイタリアオペラは新傾向を迎えていた。それは従来の古い王や神々などに素材をとるのではなく、日常生活を直接的に表現する作法でそれをヴェリズモと呼ぶ。トスカは日常生活を同時代で描いた作品ではないが、その激しい感情表出や直接的な表現はヴェリズモの影響を大きく受けている。

『トスカ』の初演は完璧な成功で、批評家の評価は芳しくなかったが、聴衆は熱狂的にこれを受け入れた。

舞台：ローマ市内

とき：1800年6月。ナポレオン率いるフランス軍が欧州全土で戦いをしていたころ。

主な登場人物

フローリア・トスカ：有名な歌手(S) トスカ最後に自殺する

マリオ・カヴァラドッシ：画家でトスカの恋人(T) スカルピアの策謀で処刑される

スカルピア男爵：ローマ市の警視総監(Br) 悪役 策謀をはかるがトスカに殺される

チェーザレ・アンジェロッティ：前ローマ共和国統領(B) 政治犯、スカルピアが処刑

スポレッタ：スカルピアの副官(T)

堂守：聖アンドレア・デラ・ヴァレ教会の番人(Br)

あらすじ

画家カヴァラドッシと、その恋人で有名歌手トスカの物語。画家は脱獄した政治犯の逃亡を助けたために死刑宣告される。トスカは、彼を救おうと警視総監スカルピアを殺すが、スカルピアの計略でカヴァラドッシは処刑され、トスカも彼の後を追って自殺する。

第1幕

逃亡した政治犯アンジェロッティ（アッタヴァンティ侯爵夫人の兄）が隠れ家を求め、教会にやってくる。礼拝堂に隠れると堂守とカヴァラドッシが登場。カヴァラドッシは描きつつある金髪のモデルと、自分の恋人トスカとを比較してアリアを歌う。

カヴァラドッシは同志のアンジェロッティと再会、カヴァラドッシは彼に飲み物を与えて隠れるように言う。

トスカはドアの外から二人の話し声を聴き、彼が他の女性と密会していたと疑う。しかし、マリオの説明を聞いてその場は納得し、夜に会う約束をしてその場を去る。

アンジェロッティが再び現れ、カヴァラドッシは自分の別荘の鍵を渡す。城から砲声が

響き、アンジェロッチェの逃亡が発覚したことを告げる。2人は急いで別荘へむかう。

堂守が合唱隊とともに戻ってくる。彼らはナポレオン軍が敗れたという誤報を信じ、神に感謝してテ・デウムの準備をする。そこへ警視総監スカルピアが登場する。

彼は堂守の話からカヴァラドッシが政治犯と共犯であると確信する。そこへ疑い深いトスカが戻ってくる。スカルピアはトスカの不安な心をあおると、彼女は不安心からその場を去る。スカルピアは部下に彼女のあとをつけるように命じる。教会ではテ・デウムが始まるが、スカルピアは祈りに参加しつつも目指す男（逃亡者）とトスカの二人とも手に入れるのだと歌う。『テ・デウム』

第2幕

スカルピアが夕食を取っている。政治犯アンジェロッチェには逃げられたが、部下のスポレッタは画家のカヴァラドッシを捕まえてあらわれる。カヴァラドッシを拷問にかけるスカルピア。トスカは恋人の苦痛のうめきを聞かされると、堪えきれずにトスカはアンジェロッチェの隠れ場所をしゃべってしまう。カヴァラドッシは死刑を言い渡され牢屋に連行される。トスカはいろいろで助命をはかるがスカルピアは恋人を自由にする代償として彼女の身体を求める。トスカは絶望し神に助けを求めて祈る、アリア「歌に生き、愛に生き」。

トスカが観念したと見たスカルピアは、スポレッタに対しカヴァラドッシに『見せかけの処刑』を行うよう命令する。トスカは（自分とみせかけの処刑で放免となるはずのカヴァラドッシと一緒に）無事に出国できるよう、スカルピアに通行証を求める。スカルピアが書類を書くが、トスカは「これがトスカのキスよ」といってナイフで胸を刺す。息絶えたスカルピアの手から通行証を奪うと、トスカは十字を切って去る。

第3幕

カヴァラドッシは夜明けに行われる処刑を牢屋で待っている。彼は自らの死と恋人との別れを想うと絶望して泣き崩れる、アリア「星はきらめき」。

トスカが現れ、驚くカヴァラドッシに通行証を見せ、これまでのいきさつを語る。空砲で見せかけの処刑が行われること、スカルピアを彼女が刺し殺したことを聞き、カヴァラドッシはトスカの愛情と勇気をたたえる。

看守がカヴァラドッシに処刑の時が来たことを告げる。トスカに見送られて刑場に向かうカヴァラドッシに彼女は「見せかけの処刑だからうまく倒れてね」と言葉をかける。

兵士たちが一斉に発砲し、カヴァラドッシは倒れる。トスカは『彼の演技』がうまいと一人ほめる。兵士たちが去るが彼は動かない。

処刑は本物だった。スカルピアは最初からカヴァラドッシの命を救うつもりなどなかった。スカルピアの計略を悟り、トスカは泣き叫ぶ。スカルピアが殺されていることを知ったスポレッタが兵士と共に駆けつけ、彼女を逮捕しようとするが、彼女は城の屋上から身を投げる。